

(案)

資料 3

第5期

麻生区区民会議報告書

～心がかよう魅力あるまち あさお～



2016年（平成28年）麻生区区民会議

第5期区民会議報告書の刊行によせて

第5期区民会議は平成26年7月にスタートし、2年にわたり活動してきました。ここにその活動経過と内容、提言をまとめ、報告書としてお届けします。

麻生区は、昭和57年に多摩区から分区し、川崎市の副都心と位置づけ、商業施設の充実を図るとともに、緑を多く残した宅地整備も行いました。その結果、人口も急増して、「芸術のまち麻生」を標榜する近代的な田園・文化都市として発展してきました。しかし、日本の抱える少子高齢化の波は確実に麻生区にも大きな影響を及ぼすことが予想されます。昨年、国立社会保障・人口問題研究所が発表した「政令市の区別男女5歳階級別データ」によれば、2035年までに麻生区では生産年齢層が減少し、65歳以上の高齢層が増えると推計しています。このことは、若者が少なくなり、高齢者が増え、やがて人口減少へ向かい、地域が過疎化していく危険性を示唆していると考えられます。

●魅力あるまちづくりに資する検討テーマ設定

かかる状況を勘案して、第5期区民会議では、まず、子育て世代に対して麻生区の魅力をアピールして麻生区への流入を促進し、まちの活力維持・向上を図ることが必要と考え、さらに、麻生区には豊富な社会経験を積んだ貴重なノウハウを持った有能な人材が多く在住しておられます。そういった方々が地域社会に出てボランティアとして活躍していただければ地域活動の活性化が図れ、魅力あるまちづくりに資するものとして次の2つのテーマを審議課題として取り上げました。

- ・若い世代が住みやすいまちづくり
- ・市民活動・地域活動の活性化

このテーマについて審議・検討する専門部会を立ち上げ、検討会、勉強会、関連団体へのヒアリング等を進めてきました。特に、「市民活動・地域活動の活性化部会」では、地域のボランティア発掘の目的でフォーラム「健康寿命を延ばすには？」を開催し、参加者へ地域とのつながりの中で健康に暮らすためのヒントを伝え、気軽にボランティア活動へ参加しやすい動機づけを行いました。

●区民会議全体テーマの設定

区民会議の全体テーマとしては、上記両部会ともに麻生区の将来を見据えて、さらに活力ある魅力に満ちたまちに発展させていくという共通の目的をもって活動することから、全体テーマは、「心がかよう魅力あるまちあさお」と設定しました。

●取組が次につながることを！

この提案が区政に反映されるよう期待するとともに、取組の実現には区民会議委員の他、区民のさらなる力が求められるところです。そして麻生区が「心がかよう魅力あるまち」になりますことを期待して第5期区民会議の報告とします。

写真

平成28年6月

第5期麻生区区民会議
委員長 金光 秀尚

【目次】

第1章	麻生区区民会議について	○
	1. 麻生区区民会議とは	
	2. 第1～4期区民会議の審議の流れ	
第2章	第5期区民会議について	○
	1. 審議課題の選定と審議の流れ	
	2. 会議の構成と役割	
第3章	各部会の審議と取組について	○
	1. 企画部会	
	2. 若い世代が住みやすいまちづくり部会	
	3. 市民活動・地域活動の活性化部会	
第4章	区民会議フォーラム～健康寿命を延ばすには？～	○
第5章	提言	○
	1. 若い世代が住みやすいまちづくり部会	
	2. 市民活動・地域活動の活性化部会	
	3. 第5期区民会議を振り返って	
【資料編】		○
	第5期区民会議委員・参与名簿	
	第5期区民会議スケジュール	
	第5期区民会議関連資料	
	区民会議ニュース	
	地域情報紙掲載記事	

第1章 麻生区区民会議について

1. 麻生区区民会議とは

川崎市では、平成17年に「暮らしやすい地域社会をめざして区民が中心となって課題の解決を図るために調査審議をする会議」として、「川崎市自治基本条例」に基づき「区民会議」が設置されました。

区民会議は、この条例が目指している「市民自治によるまちづくり」を進めるために平成18年4月から各区に設置され、麻生区でもこれまで5期（1期2年、10年間）にわたって活動してまいりました。

平成26年7月から始まった、今回の第5期区民会議では、麻生区内の課題を抽出し、どのように解決していくかを、委員20名全員が一丸となって審議を進めてまいりました。

また、全体のテーマとして「心がかよう魅力あるまち あさお」を掲げ、ヒアリング調査やアンケート調査の実施など、机上の会議に留まらず、様々な実践的手法を取り入れ、区民や大学、関連業界等、多くの人の声を聴き、地域課題の解決策を検討し、平成28年6月、提言につなげました。



■区民会議の提言までの流れ

**ステップ1
課題の把握** ●区民の意見や地域の課題など、整理・分析をしました。



**ステップ2
テーマの選定** ●調査審議する課題・テーマを選びました。



**ステップ3
解決策の検討** ●解決の方向性など、様々な視点から調査審議しました。



**ステップ4
解決策の提言** ●調査審議でまとめられた解決策を提言しました。

2. 第1～4期区民会議の審議の流れ

第1期

心が響きあう地域づくり

H18.7～H20.6

○地域のつながり「あいさつ」がはじまり

- ・防犯パトロールの支援の検討（ベストや腕章等の貸与）
- ・冊子「あいさつが交わし合える地域づくり事例集」の作成（第2期で実施）

○高齢者が輝く地域づくり

- ・高齢者の地域参加をテーマに「老人いこいの家」の活性化案を検討
- ・「老人いこいの家」と「老人福祉センター」の愛称を募集
※「いこいの家」、「いきいきセンター」の愛称が選定

○地元農産物と地域交流

- ・区の特長である「農」に着目し、区内小学校の食育担当の取組状況等、学校と地域との連携について調査



第2期

心が響きあう地域づくり

H20.7～H22.6

○市民活動推進

- ・「こども文化センター」について市民活動拠点としての視点からヒアリング調査等の実施
- ・積極的な広報、各施設間の連携の方法や区民が利用しやすい施設運用の検討

○文化芸術のまちづくり

- ・川崎・しんゆり芸術祭2009開催を受け、「市民参加の芸術祭」の取組を検討
- ・絵画展の開催や美化清掃活動に参加

○異世代間の交流

- ・専修大学、保育園等と協働して、世代間の交流を実施
- ・区内の施設で「エコバックづくり」や「エコかるた」による交流会の実施

○エコのまち麻生の推進

- ・レストランあさおでモデル事業の実施
- ・生ごみ堆肥等でつくった花や野菜の写真展や生ごみリサイクルと地産地消フォーラムの開催

○環境教育

- ・身近な地域から地球温暖化防止を進めるため、区内の取組事例等を調査
- ・学校向けの環境学習資料「麻生区エコカルテ」を作成し、区内小中学校に配布



○高齢者・障がい者などが暮らしやすい環境づくり

- ・高齢化の進展、近隣関係の希薄化などを受け、地域で支えあうコミュニティシステムの視点からヒアリング調査等を実施
- ・広報活動や地域の絆づくり、担い手の発掘と育成

○区民が主体となって進める芸術・文化のまちづくり

- ・情報発信の機能や中心となる担い手など、芸術・文化のまちづくりの形を検討するため、区内8つの文化芸術団体にヒアリング調査等を実施

○循環型のまち・生ごみリサイクル

- ・区民が実践できる「ごみの減量」や「リサイクル」に着目し、市民アンケートや先進自治体へのヒアリング等を実施。写真展、モデル事業を開催

○グリーンアップ・里山ボランティア

- ・麻生区の特徴である緑の減少をふまえ、これまで手つかずだった区内緑地について、市民ボランティアの力を活用しての保全活動を実施



○家具転倒防止に向けて

- ・区民にわかりやすく、コンパクトにまとめたパンフレットの作成・配布
- ・取組を支援するための体制の整備、普及啓発のための説明会や出前講座の開催
- ・住まい方に合った方法を提案できる専門技術者の人材確保
- ・市・区の関係部署が連携・協力し、財政的、技術的、情報面で支援する体制を整備

○家屋の倒壊防止の普及

- ・普及啓発パンフレットの配布、説明会の開催

○火災予防・火事発生への対応

- ・消火器等の設置推進・啓発

○あさお子育てフェスタを契機とした地域の子育て支援体制の構築

- ・あさお子育てフェスタの継続開催、地域で子育てを支援するネットワークの強化

○子育て世代が楽しめる豊かな芸術文化環境の区内区外への情報発信

○麻生区の「芸術のまち」構想の推進と独自ブランドの確立

- ・幅広い地域情報の収集と麻生区の芸術文化の発信を進めていく
- ・「しんゆり芸術のまち」をブランド化として確立



第2章 第5期区民会議について

1. 審議課題の選定と審議の流れ

I 地域課題の把握・整理

(1) 地域課題の把握

第5期の区民会議の審議テーマは、日頃から地域課題に関わる委員からの意見、市の統計及び市民アンケートの結果等を参考に検討し、これらを基に、区民にとってより身近な課題を抽出しました。

(2) 地域課題の把握と整理

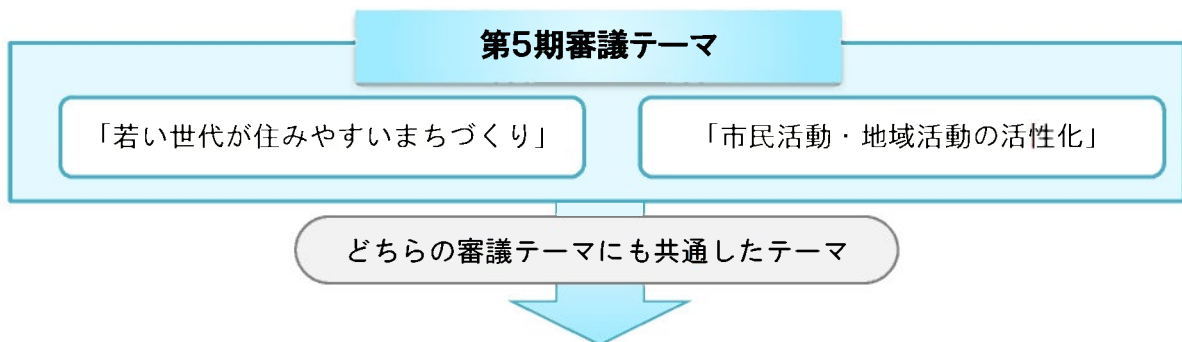
提案された内容を基に、課題の整理と分類分けをしました。

- ・ 少子高齢化が今後ますます進展し、2040年には65歳以上の高齢人口が35%を超えるという予測がある
 - ・ 生産年齢人口が減り、地域が活性化せず沈滞化していく
- (目標・方向性)
- ・ 生産年齢の若い人たちが入り込んでくるようなまちにするための取り組みが必要
 - ・ 生産年齢世代が積極的に地域に関わって活動してもらえる環境づくりが必要
 - ・ どうしたら若い人が住めるようになるのか、住みやすいところはどこかを考える
 - ・ 市民レベル・市民目線で、少子化を食い止めるために必要な取り組みを考える

- ・ 少子高齢化の進展
 - ・ 地域活動の担い手が不足している
- (目標・方向性)
- ・ 市民活動・地域活動に参加しやすい仕組みを考える必要がある
 - ・ 市民活動の担い手づくりや活性化が必要
 - ・ 町内会や自治会をベースに互助・共助の地域コミュニティづくりを考える
 - ・ 地域による高齢者・障がい者の見守りの仕組みの検討
 - ・ 高齢者等が外へ出るきっかけづくり、安心して外へ出られる環境を検討

II 審議テーマの選定

抽出された地域課題を基に、ワークショップ（ワールド・カフェ方式）を行い、区民にとって特に関心が高く、特に対策が必要な2つの審議テーマを決定しました。



第5期全体テーマ⇒「心がかよう魅力あるまち あさお」

Ⅲ 調査審議

20名の委員は審議テーマごとに「若い世代が住みやすいまちづくり」と「市民活動・地域活動の活性化」の2つの専門部会に分かれ、約2年をかけて、調査審議しました。



専門部会や全体会議における審議のほか、「子育てフェスタ」や「健康づくりのつどい」の来場者へのアンケートやインタビュー、区民会議フォーラムの開催、大学や関係団体等へのヒアリング調査等を積極的に進め、多様な意見を整理・分析して、審議の充実を図りました。

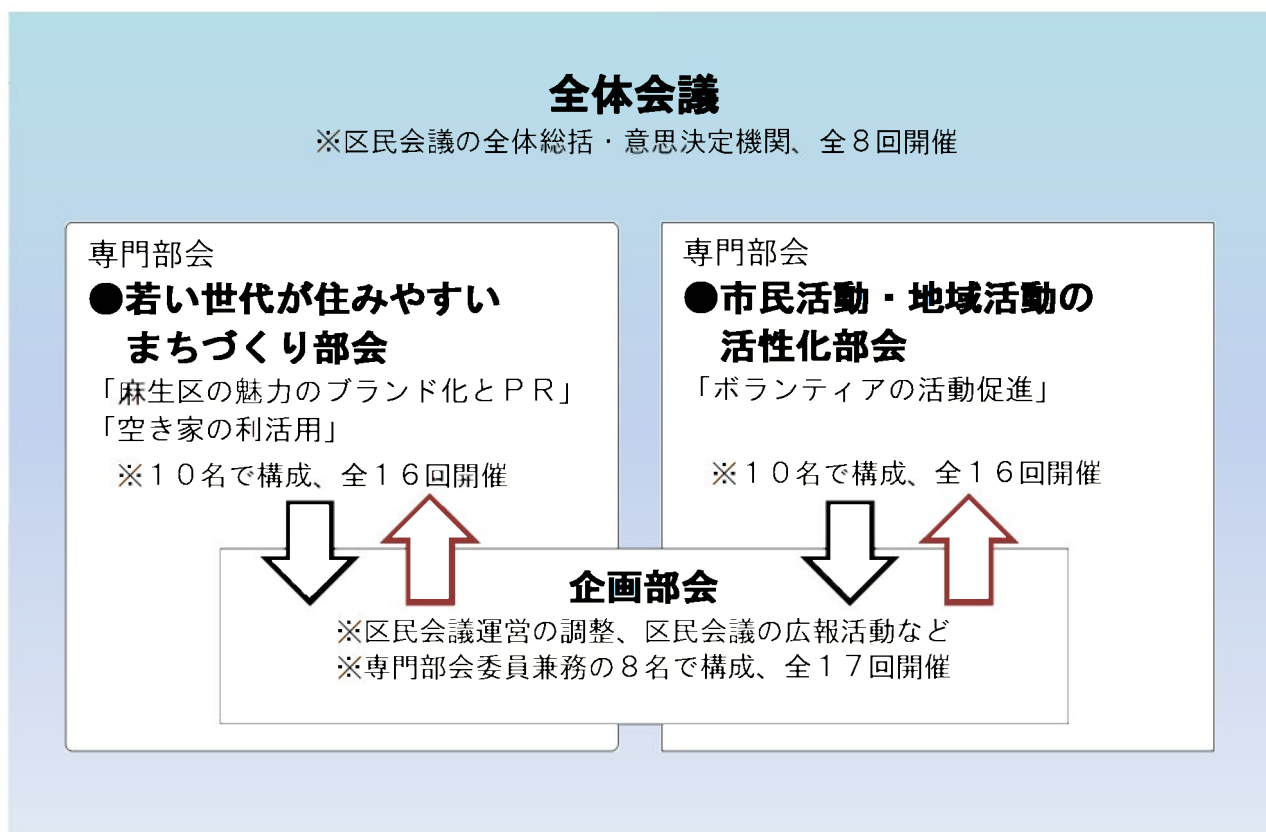
区民会議運営や広報活動を担う「企画部会」では、地域情報誌と連携する等、区民会議の認知度向上のためのPRを行いました。

企画部会と各専門部会を毎月開催し、勉強会や現地視察を行いながら、区民や地域に密着した調査を進め、議論と実践を重ねました。

Ⅳ 提言のとりまとめ

2年間の調査審議結果をもとに、提言のとりまとめを行い、区長へ提言しました。

2. 会議の構成と役割



第3章 各部会の審議と取組について

1. 企画部会

企画部会は委員長や各専門部会長等を含む8名の委員で構成され、毎月第1金曜日に会議を開き、次のことを検討しました。

- (1) 審議・調査・提言すべき課題の整理
- (2) 区民会議（全体会議・各部会）の運営
- (3) 広報・広聴活動（PR活動・区民会議ニュース等）
- (4) 区民会議フォーラムの開催
- (5) 区民会議報告書の作成

I 審議・調査・提言すべき課題の整理

第1回企画部会（平成26年10月10日）では、第1回全体会議（平成26年8月4日）に委員から出された地域課題に関する意見を基に、「若者が住みたくなるまちづくり」と「市民活動・地域活動の活性化」の2つのテーマで、席替え方式のワークショップ（ワールド・カフェ方式）を行いました。

ワークショップでは、2つのテーマに関わる個別の課題や検討の方向性について、活発な意見交換が行われました。最後に意見交換の内容を整理し、第5期では「若い世代が住みやすいまちづくり」と「市民活動・地域活動の活性化」の2つのテーマで調査審議を進めることとしました（2つの部会の設置は、平成26年11月21日の第2回全体会議で決定）。



II 区民会議の運営

各部会の審議や進行状況を、毎月確認する機会を設け、お互いの部会の取組状況について意見を交換し、各部会の審議の充実を図りました。

また、企画部会が区民会議全体の舵取り役を担うことで、委員間の情報共有や意思統一が図られ、効率的な運営となりました。

III 広報・広聴活動

平成26年度かわさき市民アンケートによれば、麻生区の区民会議の認知度は26.7%と、23年度のアンケート時の22.2%から4.5%上がっていますが、依然低い状況にあるため、区民の認知度向上を目指し、積極的な広報・広聴活動を展開しました。

(1) P R活動

① 各種地域情報紙の活用

・区内の各地域情報紙（メディ・あさお、タウンニュース、マイタウン）、市政だより等々を活用し、区民会議への傍聴を広く呼びかけました。

② 区ホームページの活用

・テーマや審議内容を掲載し、区民会議への傍聴を広く呼びかけました。

③ 町会連合会への働きかけの強化

・町会・自治会は区民と直結した組織団体であり、区民会議ニュースの回覧やフォーラム開催の町連だよりへの記事掲載など、協力関係を築きました。

(2) 区民会議ニュースの発行

区民会議の認知度向上と区民会議の情報を区民に届けるため、区民会議ニュースを全6回発行し、進捗状況などを周知しました。

体裁：A4 モノクロ、部数：5,000部/回

配布先：町会・自治会、区役所、図書館、市民館、麻生市民交流館やまゆりなど

編集・印刷・発送準備：企画部会委員が担当

	発行時期	主な内容
第1号	平成27年3月	審議テーマの決定について
第2号	平成27年6月	各部会の調査・審議状況
第3号	平成27年11月	各部会の取組み内容について
第4号	平成28年1月	区民会議フォーラム開催案内
第5号	平成28年3月	区民会議フォーラム報告
第6号	平成28年6月	報告書完成（提言）

(3) 広聴活動

・区ホームページ、区民会議ニュースの意見募集または区役所ロビーに提案箱を設置し、随時意見を受け付けました。主な意見は、次のとおりです。



- 鶴亀松公園に見られるような子ども達の笑顔があふれる街に。
- 麻生区の文化水準（ポテンシャル）を有効に活用することが、麻生区の魅力のブランド化につながるのではないか。

IV 区民会議フォーラムの開催

市民活動・地域活動の活性化部会が企画検討した内容について、開催に向けての広報や役割分担などの調整を行いました。また、参加者へ区民会議活動の経過を報告するため、ブースを設置しました。

V 区民会議報告書の作成

各専門部会と連携し、約半年の期間をかけて、この「第5期区民会議報告書」の編集・作成に携わりました。